



# 聖 峰

加賀市立錦城中学校  
学 校 だ よ り  
令和8年6月号  
文責 校長 北市 康德

## 【新しい学びの時間“NEXT”をはじめました】

本校では、昨年度より一単位時間45分の授業を実施し、残りの5分間を集めて7限目の授業を実施しています。そのことにより、定期テスト前、学校行事前、大会前など年間を通して7限目（もしくは水曜日の6限目）を入れる日を調整しメリハリのある教育課程をめざしています。

今年度は、この7限目の時間を“NEXT”と銘打ち学年・学級を解体し、全校が8つのコースに分かれて学習をする取り組みをはじめました。とにかく独学で静かに学習（過去問を解くなど）するコース、教え合い・学び合いながら学習を進めるコース、活動計画を立て実行する計画性や学び方をまず体感するコースなどです。紙のプリントだけでなく、ヘッドセット（マイク付イヤホン）をつけ動画やAIドリルなどへの挑戦もしています。まだまだ改善の余地が大きいです。やらされる勉強ではなく「自分で選ぶ」



「自分からやる」自律した学び手育成に努めていきます。

6.22 “NEXT” より

## 【加賀地区大会（県大会予選）の生徒の姿から思うこと】

多くの3年生にとって部活動・社会体育活動における最後の大会である加賀地区大会（県大会予選）。見事、県大会出場を果たしチーム・生徒もいれば、惜しくも敗れたチーム・生徒もいます。個人的な話ですが、私は、高校の最後の大会、一度も試合に出ることなく野球部を終えました。当時は、正選手の同級生と自分を比較し、正直、晴れ晴れとした気持ちではありませんでした。

しかし、部活動の指導者となり何人もの生徒を見てきたなかで、補欠となっても諦めず、正選手と同じもしくはそれ以上の練習をする、ベンチで声を出す生徒の姿は、むしろすごいことだと思います。成果は人生のいつ現れるかわかりません。加賀地区大会の生徒の姿を見て、多くのエネルギーをもらいました。県大会に行く生徒も、高校受験に切り替える生徒も残りの中学校生活を悔いなく送ることができるよう、がんばっていきます。



柔道 個人戦より

